

「住んでよかった」を実感する 魅力あるまちづくり

このたびの町長選挙におきましては、皆様からの心温まるご支援とご厚情を賜り、引き続き、紀宝町長としての重責を担わせていただくことになりました。

みなさまから寄せられました期待と信頼にお応えすべく、新たな決意のもと、紀宝町の将来像である「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現に向けて、誠心誠意全力を尽くしてまいる所存でございます。

平成18年1月に新しい紀宝町が誕生してから、3期12年間で取り組んでまいりましたさまざま「まな町づくり施策」におきまして、特に、徹底した行財政改革、教育・子育て環境の充実、紀宝バイパスの開通、高速道路の南進を活かした産業振興と雇用拡大の推進、福祉サービスの向上、災害復興・防災対策、河口大橋（新宮紀宝道路）の事業化などインフラ整備の促進、若い世代が地

域で活躍できる環境整備の推進などにつきまして、手綱をゆるめることなくその実現に精力を積み重ねてまいりました。

4期目を迎えさせていただきますにあたり、今回の選挙で掲げました、教育・子育て環境の充実、高速道路時代に相応した情報発信と産業振興の推進、住民との連携によるさらなる福祉サービスの向上、防災・減災、河口大橋（新宮紀宝道路）の早期完成などインフラ整備の促進、若い世代が地域で活躍できる環境整備の推進などに取り組んでまいりますとともに、「第2次紀宝町総合計画」に基づき「人の命が一番」「子どもはまちの宝」「高齢者はまちの誇り」を基本にしながら、愛するふるさと紀宝町のために、さらに努力させていただきます、町民の皆様が、「住んで良かった」を実感する魅力ある町づくりに邁進させていただきます。



3月定例会で所信表明する西田町長

町政の基本方針と 施策の大綱

◆ 地方創生

地方創生につきましては、平成27年度から事業に取り組み、平成30年度で4年目を迎えます。町におきましては、「地方創生推進交付金」を活用し、三重県や東紀州地域の市町と連携したソフト

事業として、魅力あふれる強い観光地域づくりや、外国人観光客等の受け皿づくりの基盤強化を図る「地方創生観光しごとづくり関連事業」、子育てしやすい町をアピールし、都市部から子育て世代等の移住を促進する「子育て移住定住促進関連事業」の2本柱でさまざまな事業に取り組んでおり、平成30年度におきましても、引き続き事業を継続するなかで、施策の充実・強化に努めてまいります。

これらの事業のなかでも最も大きな効果があったものとしては、「青森県藤崎町」との連携事業があります。

これは、藤崎町のリンゴと紀宝町の柑橘といった両町の特産品の融合が、都市部を経由せず、地方と地方を直接結ぶ「ローカル・トゥ・ローカル」という地方創生にふさわしい、新たな、そして画期的な取り組みであり、今後、この事業を進めていくなかで、さまざまなものを生み出し、両町の発展に繋げてまいります。

もう一つの地方創生交付金事業といたしましては、新たに交付金対象となりました「地方創生拠点整備交付金」を活用した、浅里地区にあります「紀宝町飛雪の滝キャンプ場」における「コテージ」8棟および「直売・集客交流拠点施設」の整備があります。



整備が進む浅里飛雪の滝キャンプ場

この事業は、これら2つの施設整備を契機に、浅里地区を本町への誘客の核として位置づけるなかで、世界遺産や自然、文化、食などを活用し、より多くの方に訪れていただけるよう魅力アップを図り、その集客効果を町内各地域へも波及していけるよう取り組むことを目的としております。

コテージおよび直売・集客交流拠点施設は、平成30年3月末に完成し、4月18日に、「紀宝町飛雪の滝キャンプ場リニューアルオープン記念式典」を、4月下旬からは、コテージおよび直売・集客交流拠点施設の利用開始を予定しております。

既存の観光資源や、海・山・川の自然を活用した新たな体験メニューを創出し、魅力あるキャンプ場として整備を図るとともに、



平成30年度 所信表明